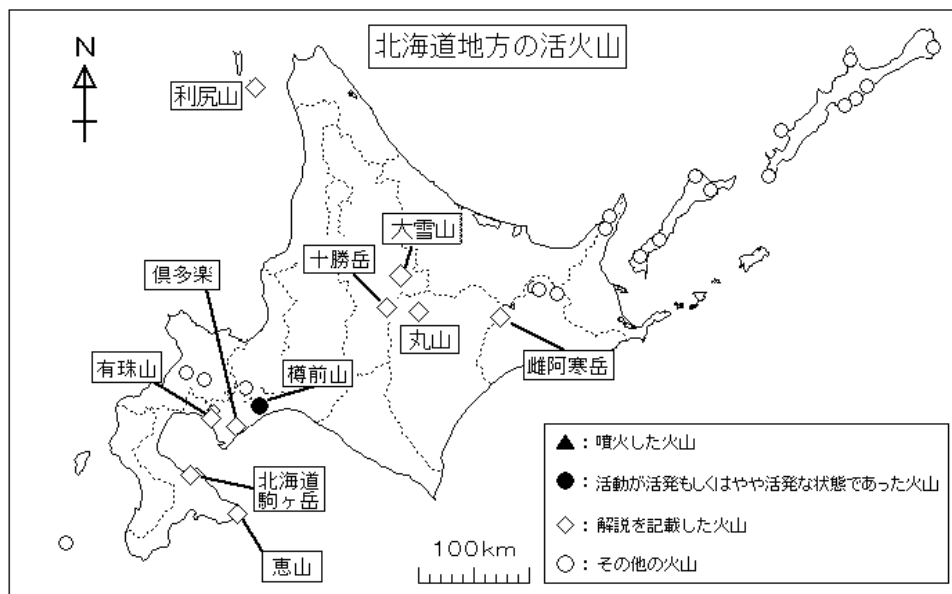


北海道地方の火山活動解説資料（平成 19 年 2 月）

札幌管区气象台 火山監視・情報センター



【2月の活動概況】

樽前山では、引き続き火山活動はやや活発な状況となっています。
十勝岳は、やや活発な状況から静穏な状況となりました。

◇雌阿寒岳 [静穏な状況]

小規模な火山性地震が一時的にやや増加しましたが、その他の観測データには特段の変化はなく、火山活動は静穏な状況です。

◇丸山 [静穏な状況]

26日に実施した上空からの観測では、火口の状況に変化はなく、火山活動は静穏な状況です。

◇大雪山 [静穏な状況]

26日に実施した上空からの観測では、噴気の状況や火口の状況に変化はなく、火山活動は静穏な状況です。

◇十勝岳 [静穏な状況]

62-2 火口では昨年1月以降、噴煙活動及び火口温度に低下傾向が見られ、熱活動は次第に低下しました。地震活動は低調で、地殻変動にも特段の変化はありません。以上のことから、火山活動は静穏な状況になったと考えられます。

◇利尻山 [静穏な状況]

26日に実施した上空からの観測では、噴気や地熱域は認められず、火山活動は静穏な状況です。

●樽前山 [やや活発な状況]

A火口及びB噴気孔群では高温の状態が続いていると推定されます。火山活動は引き続きやや活発な状況です。火口周辺では注意が必要です。

◇倶多楽 [静穏な状況]

火山活動に特段の変化はなく、静穏な状況です。

◇有珠山 [静穏な状況]

火山活動に特段の変化はなく、静穏な状況です。

◇北海道駒ヶ岳 [静穏な状況]

火山活動は静穏に経過しています。わずかな山体膨張や、2003年9月以降見られている昭和4年火口からの弱い噴気は引き続き観測されています。

◇恵山 [静穏な状況]

火山活動に特段の変化はなく、静穏な状況です。

次の火山活動解説資料（平成 19 年 3 月分）は平成 19 年 4 月 9 日公表の予定です。この資料はホームページでも閲覧することができます（札幌管区气象台 <http://www.sapporo-jma.go.jp> 気象庁 <http://www.jma.go.jp>）。

この火山活動解説資料は気象庁の他、北海道大学、独立行政法人防災科学技術研究所、北海道および北海道開発局のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平 17 総使、第 503 号）。